

令和元年度 青少年「平和と交流」支援事業 ヒロシマ平和行政実務者研修 参加者レポート（抜粋）

1 研修で学んだこと

(1) 被爆の実相と被爆者の思い

- ・戦争孤児
- ・復興に向けた広島のみ

(2) 広島市及び各自治体の取組

- ・「守り・広め・伝える」を3つの軸とした広島市の取組
- ・様々な支援プログラム（貸出資料、講師の派遣）
- ・被爆体験証言の映像記録化や被爆体験記の朗読会などの多岐にわたる啓発事業
- ・各自治体の平和の取組や課題
- ・平和首長会議の取組

(3) 平和の取組を進めていく上での考え方

- ・平和推進事業における「連続性」「双方向性」「継続性」の重要性
- ・後世に語り継いでいく重要性
- ・若い世代へ伝えていくことの重要性
- ・被爆体験の共有、継承の重要性
- ・原爆被害だけでなく、各地域で起きた戦争被害など、身近なところから平和を考える重要性

(4) その他

- ・歴史的背景による諸外国の思い
- ・広島市民の平和への思い
- ・広島市民の平和意識の高さ
- ・資料館の分かりやすい展示と多言語化

2 各自治体で取り組んでみたいこと

(1) 広島市の支援プログラムを活用した取組

- ・被爆者や被爆体験伝承者の派遣の活用
- ・原爆写真パネル展
- ・被爆樹木の植樹
- ・平和学習講座や朗読会

(2) 子ども向け・若者向けの取組

- ・国語の授業と連携した朗読会（小学生向け）
- ・子ども向けのパネル展示
- ・広島、長崎への派遣事業
- ・保育園や小学校での折り鶴制作
- ・若者主体の平和事業（出前講座）
- ・平和の花（カンナ）を植え、育てる運動
- ・平和創造劇の上演
- ・平和作文、標語、ポスターの募集
- ・SNSを活用した取組（写真コンテストなど）

(3) 地域の特性を生かした取組

- ・平和のフィールドワーク（クイズラリー形式など）
- ・地元での戦争の歴史の学習
- ・観光都市としての平和事業

(4) その他

- ・平和映画上映会
- ・教育旅行での広島、長崎訪問の促進
- ・被爆ピアノコンサート
- ・各種イベントでの折り鶴コーナーの設置
- ・参加型プログラムの導入

3 平和首長会議に期待すること

(1) 加盟自治体の平和事業の支援

- ・本研修の継続実施（自治体間での意見交換の場、情報交換の場の提供）
- ・各自治体の平和の取組や啓発事業に活用できるプログラムなどの事務局からの積極的な発信
- ・加盟都市の拡大と加盟都市としての活動強化

(2) 若い世代への取組の充実

- ・若い世代を引き付ける取組の推進（明るいイメージの音楽フェスなど）
- ・各地で活動する若者の平和団体への支援
- ・広島、長崎へ派遣した児童生徒の相互交流の場の提供
- ・若い世代への平和意識の伝承を促す施策
- ・アニメ等とタイアップした啓発

(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の活用

- ・ホストタウン制度を活用した海外加盟都市の拡大、海外原爆展の開催等

(4) 被爆地（広島・長崎）からのメッセージの発信

- ・被爆地としての取組の強化
- ・「希望のまち」「世界の誇れるまち」としての存在のアピール
- ・被爆体験伝承の多言語化

(5) その他

- ・核兵器に限らず、身近に平和を考え、周りの人たちと共有する取組
- ・核保有国出身者と非保有国出身者とのディベート
- ・スカイプを利用した会議